

**キーワード**

地域スポーツクラブ、コミュニティ形成、地域活性化、スポーツ・ツーリズム、スポーツ推進

研究概要

地域スポーツクラブをベースにしたコミュニティ形成について研究しています。スポーツは人類共通の文化であり、誰もがそれを享受できる権利を有しています。こうしたスポーツの特性を活かし、人の動きを作り出していくことによって現代社会で問題視されている「コミュニティの希薄化」、「人とのつながりの希薄化」を解消することを目指しています。最近では、孤立・孤独予防に地域スポーツクラブやスポーツの果たす機能について研究を進めています。その中で、災害時に地域スポーツクラブがハブの機能を果たし、住民同士のつながりの拠点となり、地域のレジリエンスを高めているということを明らかにしています。また、スポーツと観光を融合させた「スポーツ・ツーリズム」の観点から地域活性化について研究しています。都市型ホテルの健康・スポーツプログラム開発をホテル関係者とともに目指し、交流人口の増加につなげる仕組み作りを行っています。研究方法は、インタビューや観察といった質的方法をメインにしています。それらを補完するための質問紙調査やインターネット調査などの量的方法も用いています。

アピールポイント

日本生涯スポーツ学会理事および編集委員会委員長、兵庫体育・スポーツ科学学会理事および研究企画委員会委員長、尼崎市スポーツ推進審議会委員長、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツリーダー講習会講師など。本研究室では、神戸マラソンにボランティア参加したり、神戸商工会議所主催スポーツ産業コンペに参加したり、と大学と地域をつなぐ活動も行っています。

応用分野

調査・分析方法として用いているKJ法、マインドマップ、チームビルディング、アイスブレイクなどを用いて組織形成や人とのつながり形成に関する調査・研究に応用できる。スポーツを通じた健康づくりや体力向上方策の提案。